

令和7年度オンライン特定保健指導業務企画提案書作成要領

1 部数 正本1部、副本7部

2 構成（全て任意様式とする。）

- (1) 表紙（題名は、「オンライン特定保健指導業務提案書」とすること。）
- (2) 目次
- (3) オンライン特定保健指導業務に係る提案書
- (4) 業務実施スケジュール
- (5) 業務実施体制及び体制図
- (6) 支援方法
- (7) 受診率向上及び対象者の生活習慣の改善の工夫
- (8) 指導に使う教材のサンプル
- (9) 実績調書
- (10) 見積書

3 作成に当たっての留意事項

(1) 提案書全般

- ア 原則、A4判用紙（片面印刷）を使用すること。A3判用紙（片面印刷）を使用する場合には、A4判サイズに折り込むこと。なお、枚数に制限はない。
- イ 目次を付け、ページ下部にページ番号を振ること。
- ウ 難解な表現は控え、図解などを活用するなど、分かりやすい提案書とすること。また、専門用語は、脚注により説明を付記すること。
- エ コピーが可能な用紙を使用し、丁合後、ホチキスやクロステープなどでとじずに、ダブルクリップ等で留めること。
- オ 提案者が確実に実現できる範囲で記載すること。
- カ 「オンライン特定保健指導業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）に基づいて作成すること。
- キ プレゼンテーションの内容は、企画提案書の内容とそごがないよう注意すること。
- ク 秘密情報の取り扱いについて記載すること。
- ケ 見積書を除き押印は不要とする。

(2) 業務実施スケジュール

事業の実施について、大まかな業務遂行の行程表を作成すること。

(3) 業務実施体制及び体制図

- ア 本業務の実施体制（従事する専門職の職種及び人数等）や役割分担を記載すること。
- イ 本事業を実施する際に、土日祝日及び夜間の実施体制を記載すること。
- ウ 電話勧奨の方法について記載すること。

(4) 受診率向上及び対象者の生活習慣の改善の工夫

特定保健指導の受診率向上及び対象者の生活習慣の改善のための工夫について、実施する内

容の説明資料を作成すること。なお、特定保健指導にウェアラブル端末やアプリを用いる場合は、測定項目等仕様について記載すること。

(5) 実績調書

令和4年度から令和6年度の契約実績及び利用率について記載すること。なお、自治体名の公表について、当該自治体の了解が得られない等制約がある場合を除き、当該自治体名を公表すること。

(6) 見積書

ア 代表者印を押印すること。

イ 動機付け支援、積極的支援及び電話勧奨について、それぞれ一人当たりの合計単価をきさいすること。また、それぞれの積算内訳書を添付すること。

4 問合せ先

企画提案書の作成に関する問合せ先はオンライン特定保健指導業務公募型プロポーザル実施要領「12 申込書等の提出先・問合せ先」に記載のとおりとする。